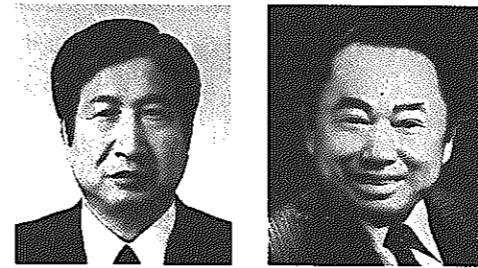


議長・副議長、議会人事決まる

第3回市議会臨時会



▲議長 河内新平氏

▲副議長 五十嵐仁一郎氏

五月十八日、市議会議員改選後、初の第三回白根市議会臨時会が行われました。臨時会では議会人事を含む十一の議案を審議。すべて可決、同意、承認されました。

●議会人事

議会人事は議長・副議長選が行われ、選挙の結果、議長には河内新平氏が、副議長には五十嵐仁一郎氏が選出されました。また、常任委員と議会運営委員を選任。各議員の所属委員会は次のとおりです（敬称略）。○は委員長、○は副委員長。

【総務文教常任委員会】○和田栄七郎 ○桜沢義栄 浦野文一 五十嵐仁一郎 長谷川一栄 渡辺義一 柏一二 関根省三

【社会建設常任委員会】○渡辺康○佐藤克巳 大野進 河内新平 高橋末江 関根省三 遠藤哲

【産業企業常任委員会】○山田昇栄 ○品田栄一 丸山紀周雄 千代沢昭弘 小林仁市 田中義清 高橋文子

【議会運営委員会】○長谷川一栄 ○大野進 浦野文一 和田栄七郎 渡辺康 小林仁市 渡辺義一 柏一二

このほか、白根地域広域事務組合議会議員の選挙が行われ、選挙の結果、白根市からは九人の議員が選ばれました（敬称略）。【白根地域広域事務組合議会議員】五十嵐仁一郎 和田栄七郎 千代沢昭弘 佐藤克巳 小林仁市 長

谷川一栄 高橋末江 柏一二 遠藤哲

●同意された人事案件

監査委員選出の選任が行われ、浦野文一氏の選任について同意されました。

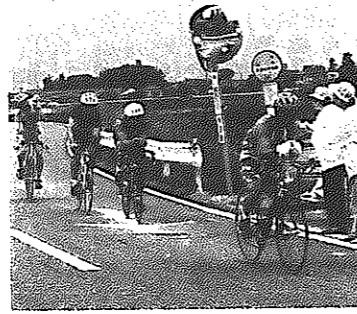
●可決・承認された主な議案

・白根市税条例の一部改正について  
平成十一年度の税制改正に伴い、個人住民税の最高税率を「百分の十二」から「百分の十」に引き下げる特例措置など、地方税負担の軽減が図られました。

・平成十年度白根市一般会計補正予算（第十一号）

歳入歳出にそれぞれ七千八百五十九万九千円を追加し、百三十四億九百八十七万七千円を予算総額としました。歳出では各基金への利子、寄付金などの積み立てや、地域振興券交付事業予算の組み替えなどを行いました。歳入では市税の減額や交付税、市債発行額の確定による調整を行っています。平成十一年度白根市老人保健特別会計補正予算（第一号） 歳入歳出にそれぞれ三千四百四十七万六千円を追加し、予算総額を三十六億五千七百一十八万八千円としました。これは、国庫支出金などが翌年度に精算交付されることによる、平成十年の歳入不足に対し、十一年度に収入される精算交付金を十年度会計に繰り上げて使用することとしたものです。

スポーツの一日



平成十一年度白根市スポーツフェスティバル  
五月十六日、白根市スポーツフェスティバルとして、新飯田小・中学校をメイン会場に「第八回全日本天乃川デュアスロン大会」が、

白根市テニスコートでは「白根市テニス講習会」が、それぞれ開催されました。デュアスロンとは、トライアスロンから水泳を除いた、マラソンと自転車の二種競技。招待選手五人を含めた県内外からの四十七人の参加者は、マラソン十キロ、自転車三十八キロの距離を競いました。午後からは、三人の講師を招いた講演会も行われました。白根市トライアスロン協会会長の石黒修吉さんは「もっと地域に広めていきたい」と話しています。



また、溝口美貴プロを迎えて行われたテニス講習会は、初・中級と上級に分かれたクラス別レッスン。コート六面に分かれた約五十人の参加者は、コートの指導を熱心に聞きながら、一打一打丁寧に打ち返していました。

毎秒28トンの排水能力で湛水被害を軽減

白根郷の湛水被害を軽減するため、平成六年度から国営総合農地防災事業が着工され、このほど営業排水機場が完成しました。白根郷は信濃川・中ノ川に囲まれた輪中地帯（洪水から集落や耕地を守るため、周囲に堤防をめぐらした低湿地）で、川よりも低い平地のため自然排水ができません。これまで郷内の排水は、大通川の下流にある白根排水機場と根岸の中部排水機場で行ってきました。しかしながら、道路、工場、宅地化など、近年の都市化の進む

営業排水機場が完成

中でしばしば湛水被害が生じるようになりまし。昨年八月、下越地区を襲った集中豪雨が大きな被害をもたらしたことは、まだ記憶に新しいところです。営業排水機場は郷内の豪雨時に稼働し、郷内上流の排水を行います。口径二メートルのポンプが三台据え付けられ、最大で毎秒二十八トン（約一時間四十分で県庁一杯分）の排水能力があります。雨の降り方にもよりますが、年間四回程度稼働することが予想されています。

最大瞬間風速35.9メートル

果樹地帯に大きな被害



▲枝が折れたブドウ。一番大きな被害を受けました。



▲倒壊したビニールハウス

五月二十五日未明から吹き荒れ、県内各地に被害をもたらした強風は、白根市でも午前六時四十分には最大瞬間風速三十五・九メートルを記録。農作物などに大きな被害をもたらしました。農産物の被害総額は約二億二千二百二十万円に上りました。特に果樹地帯の被害は大きく、ブドウは房や枝が折れるなど被害額約一億四千九百六十万円。モモやナシなどは葉や果実がすれて損傷し、被害額は約五千八百万円に上りました。今後の果実の成長に影響を及ぼすことが心配されます。また、枝豆、ソラ豆、トマトなどの野菜も葉や葉が損傷し、品質・収量低下につながる被害を受けました。農業施設ではビニールハウス四棟が倒壊、百五十六棟のビニールハウスのビニールが破損するなど被害が出ました。被害額は約一千二百十万円に上りました。

活発な市政談義



平成十一年度自治会等代表者連絡会議  
五月二十四日、カルチャーセンターで自治会等代表者連絡会議が開かれました。これは地域の代表者である自治会長と、市長をはじめ関係課長が一室に会して意見交換を行うというものです。

この会議に先立ち、十年以上自治会長を務められた内山甲子男さん（下鶴ノ木一）と畠山勇平さん（水道町四）に、自治振興の功績を讃え感謝状が贈られました。会議には自治会長約百四十人が出席し、地域の意見や要望が出されました。これに対し、市側から今後の対応策などの説明がなされ、活発な談義となりました。

意気込み十分、25人の若手農業者



農業大学講座開講式

平成十一年度白根市農業大学講座開校式  
五月十一日、市内のホールで白根市農業大学講座開校式が行われ

ました。これは、市や農協からなる白根市農業振興協議会が主催しているもので、農業に従事する若者を対象に、農業後継者の養成を目的としています。設置されたコースは四つ。参加者二十五人が、これから視察研修や経営研修など農業経営を学んでいきます。勤務していた会社を辞めて農業を始めたという、渡辺元さん（上赤波）は「同じ立場の若い人と知り合える良い機会。農業について勉強しようと思いを受講しました」と話してくれました。